

国際農業

講師名	千田 勝巳 JETRO職員	実務経験等	千田氏: 国際協力機構のJICA専門家としての勤務経験を活かし、世界的な見地から自然地理的な農業立地の特色を知るとともに、各国の農業政策や農畜産物の輸出の現状等について講義を行う。 JETRO職員: 日本貿易振興機構盛岡貿易情報センターでの勤務経験を活かし、貿易の仕組みと日本農業の将来展望についての講義を担当している。
-----	------------------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	選択(必修)・C群	2	通年	30	2
使用教科書・副教材	自作プリント等					
授業の目的	1 世界的な見地から自然地理的な農業立地の特色を知り、各国の農業政策を学習する。 2 アメリカ、アジア、EUなど各地域農業の現状から農業の歴史的発展方向を学習する。 3 農畜産物の輸出の現状を理解するとともに、輸出の仕組みについて学習する。					
授業の到達目標	世界の農業と食料問題を理解し、国際農業に係る現状、課題及び自ら考えた解決策などをまとめ、発表することができる。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)	
5月13日	世界の農業の特色とアメリカの農業	世界各地の自然条件下での農畜産物の生産から農業が歴史的、社会的な特色を有する事を理解するとともに、アメリカ農業の歴史的な展開と現状を理解する。	2	講義	農産園芸学科3	千田講師
5月27日	同上	同上	(2)		畜産学科3	千田講師
6月16日	ヨーロッパの農業 アフリカの農業	イギリス、フランス、ドイツや欧州諸国並びにアフリカの農業政策にどのような特徴があるか理解する。	2		農産園芸学科3 畜産学科4	千田講師
6月25日	アジアの農業	中華人民共和国や東南アジアの農業の現状と問題点を理解する。	2		農産園芸学科3 畜産学科4	千田講師
	海外文化の理解(仮)	ネイティブスピーカーとの交流により、英語圏文化を理解する(仮)	2		農産園芸学科4 畜産学科3	ALT、渡部
7月6日～7日 または 7月13日～14日	事例研究	国際農業にかかる国内農業者等の先進的な取組を事例研究を通じて学習する。	12	事例研究	各担任、レポート	各担任
7月9日	貿易の実際(JETRO)	貿易の仕組みと日本農業の将来展望について理解する。	4	講義	JETRO	JETRO
7月15日	日本農業の位置づけ	国際的な視点からの日本農業を理解する。	2		農産園芸学科3 畜産学科4	千田講師
10月6日	グループ研究発表会①	国際農業に係る現状、課題及び自ら考えた解決策などをまとめ、発表会で伝達する。	2		レポート	千田講師 各担任
10月7日	グループ研究発表会②	国際農業に係る現状、課題及び自ら考えた解決策などをまとめ、発表会で伝達する。	2		レポート	千田講師 各担任
		合計	30		時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

課題の評価、受講態度、出席状況により評価する。
 評価割合: レポート50%、平常点50%(受講態度、出席状況)

履修に当たっての留意点等

授業で、課題を設定し、レポートの作成及び代表者による発表を行う。事例研究のレポートは各担任(各学科教授)による評価とする。